

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」茨木駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		1	利用定員に対して、支援の組み合わせや子どもの特性に合わせてスペースを調整している。
	②	職員の配置数は適切であるか	5		1	職員のバランスを考慮して配置することができている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	4	障がい特性に配慮したシンプルな環境づくりをしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		1	PDCAサイクルを意識することができるように職員の意識を高めていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		アンケートを元に、すぐに改善できることから取り組み、業務改善に繋げていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	4		ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	5	現在、第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			社内の発達支援研究所が職員の資質向上に繋げるために初任者研修、定例研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			受付シートに記載後、聞き取りをしアセスメントを行い、体験を実施後、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		アセスメントシート、NCプログラム、SDQプログラムでアセスメントを実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		事業所内で、児発管、担当指導員、他の指導員で支援プログラムをたてている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		日々の支援の状況を確認し、プログラムの工夫を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		1	平日、休日に関係なく45分の療育、15分の振り返りでの1時間の支援を行っているため、大きく設定を変えることはない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		4	2	個別療育であるが、集団に繋ぐことができるようにSSTなどを行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		1	必要に応じて、職員間で連携を図っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		必要に応じて、職員間での共有を行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々の支援の記録を取り、支援の検討、改善に繋げている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的にモニタリングを行い、支援計画について見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6			子どものニーズに合わせて複数を組み合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		サービス担当者会議には、児発管、担当指導員が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	2		保護者からの依頼がある場合は、情報共有を行っているが、送迎に関しては、実施していないので連携をとっていない。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		ご希望のご家族とは、連携を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		ご家族、相談支援機関と連携を図っていききたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		ご家族、相談支援機関と連携を図っていききたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5	現在は、交流する機会がないが、こうりゅうできる機会をつくっていききたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	1	参加することができていないが、参加できるようにしていきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			日々の振り返りの中で、共通理解を持っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5		ご家族からの相談やアドバイスには、取り組んでいるが、支援プログラムとしては、行っていないので、今後対応していききたい。
保護者への説	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		契約時に丁寧に説明をしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		日々の振り返り時、モニタリング時、また、必要に応じて時間を設けて保護者の相談に応じている。

明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5		今後、機会をつくっていききたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		迅速に対応をしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		今後、情報を提供していきたい。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			鍵のかかる書庫で管理をしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		視覚的ツールなどを活用している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	地域の方々が参加する行事などは実施していないが、問い合わせに対応し、訪問などで対応している。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		各種マニュアルを準備し、月に一回程度、訓練を行っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			非常災害に対応することができるように、定期的に訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		1年に1回以上の研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2		運営規程、身体拘束においても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば支援計画に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		支援中に食事をとることがない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		ヒヤリハット事例については、自事業所、他事業所とも情報共有を行っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」茨木駅前校 保護者等数（児童数）： 54 回収数： 48 割合： 89%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	47	1	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	47	1	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	30	16	2	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	46	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々にあった無理のない課題で達成感を味わえます。 ・個々に合わせた課題で本人の達成感に繋げていく。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	43	5	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	15	30	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育のため、1対1で子どもと関わっていただいています。 ・個別療育のため、現在のところ交流はない。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	48	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	48	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたことをすぐに取り込んでくれる。 ・振り返りの中で聞き取ったことをできるだけ支援に取り入れていく。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	48	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、子どもの状況を聞いてくださりアドバイスを頂いて助かっています。 ・母の愚痴にも似た悩みをいつも聞いてくれる。 ・振り返りの時間を有効に活用し、利用者に寄り添っていく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	23	19	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校生なので必要ありません。 ・保護者からの要望があれば対応していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情を伝えること場がない。 ・該当なし。 ・該当する事例がない。 ・今後も、利用者寄り添い、話を聞いていく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	44	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも色々聞いてもらっている。 ・利用者が話することができる環境づくりを行っていく。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2 3	2 3	2	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	4 3	5	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3 8	9	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3 3	1 2	2	・訓練に遭遇したことがない。 ・現在は、普段の支援内容の要望があるため、利用者を含めての訓練を実施することが難しいが、今後、実施できるように検討していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	4 8	0	0	・親の都合で休むと子どもに怒られる。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	4 6	2	0	・子どもの特性に合わせて柔軟に対応し大変助かっている。 ・もう少し勉強する時間を長くしてほしい。 ・利用者の特性に合わせた支援ができるように柔軟に対応していく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。